

泉原伯太郎

いずみはら・はくたろう

実業家、福山誠之館同窓会幹事長

経歴

生: 明治27年(1894年)ごろ、広島県芦品郡戸手村(現福山市新市町戸手)生まれ

没: (不明)

明治45年(1912年)	18歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
—	—	大阪工業高等学校卒業
昭和2年(1927年)5月	33歳	備後染色株式会社入社
昭和11年(1936年)	42歳	備後染色株式会社取締役
昭和21年(1945年)	52歳	備後染色株式会社社長
—	—	広島県織染協同組合理事
—	—	広島地方裁判所・広島家庭裁判所調停委員
昭和29年(1954年)6月25日～ 昭和41年(1966年)	60～ 72歳	誠之館同窓会幹事長
昭和31年(1956年)7月～ 昭和32年(1957年)6月	62～ 63歳	福山ロータリークラブ会長
昭和34年(1959年)4月29日	65歳	黄綬褒章
昭和37年(1962年)	68歳	紺綬褒章

生い立ちと学業、業績

氏は福山染色業界の泰斗。誠之館中学校を経て大阪工業高等学校を卒業。

昭和2年5月備後染色株式会社に入り、爾来その道一すじに精励された。

昭和11年(1936年)常務取締役に就任、昭和21年(1945年)に社長となり事業経営に任じて業績を仕上げ、広島県織染協同組合理事に推された。

業界に対する熱意と努力は並ぶ人なく、その功績は高く評価されている。

昭和34年(1959年)4月29日産業功労者として黄綬褒章を授与されたことは、これを如実に

物.語っている。

今日では又、広島地方裁判所・広島家庭裁判所の調停委員、誠之館同窓会幹事長としても、部内外の信望を集めている。

物静かで、老松の趣きを想わせる人柄は、福山実業界の指導的地位にあり、人をして尊敬の念をいだかさずにはおかない。

趣味も枯淡、釣を楽しまれ、囲碁は初段の腕前である。

福山市田尻町。父は泉原彌一郎氏。 (出典1)

出典1:『政治産業文化総合名鑑』、備後文化出版社刊、昭和34年9月

出典2:『備後備中肖像名鑑 郷土を創りつつある人々』、備後文化出版社刊、昭和37年8月

2005年4月11日更新:経歴・本文●2006年6月15日更新:タイトル●2006年8月28日更新:経歴・出典●2008年2月13日更新:経歴・本文・関連情報削除●2010年7月8日更新:経歴●